

読書活動の取組

滋賀県 東近江市立五個荘中学校

基本データ

所在地	東近江市五個荘小幡町 227
児童生徒数	297 人
教職員数	36 人
蔵書数	11,694 冊
年間貸出冊数	2,532 冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】公共図書館、地域との連携体制、ネットワークの構築

【活動のねらい】

- 【学校教育目標】「よく学び、心とからだを鍛えつづける生徒の育成」
- 【読書活動に関する目標・標語】「心に栄養を与え、学びを広げる読書活動」「併設市立図書館とつながる学校づくり」「本でつながる人がいっぱい」

取組・活動の概要

- 平成 26 年新校舎建設時に、学校敷地内に生涯学習の拠点である公立図書館と学びの場である学校図書館が、中学校と一体化した共有施設として設置された。
- そこで学校図書館主任と学校司書が中心となって新しい学校図書館の準備を進めた。
- その後、2つの図書館の資料を有効に活用した多様な図書館活動が進められ、生徒会の委員会活動や学習成果の紹介、図書館司書と学校司書の連携による資料提供、定期的な読書指導等がさかんに行われている。
- また、地域ボランティアと連携し、読書活動の環境整備への協力の取組も進めている。

(1) 地域・学校ぐるみの活気ある図書館の運営

① 社会人活用講師によるブックトークを全クラスで実施

- 本の紹介や新聞、情報リテラシーについてのワークショップなどを行い、情報活用能力の育成を図った。その際の資料提供は学校司書と図書館司書が連携をとり、授業が進めやすい環境整備を行った。
- この取組は、平成 27 年度から継続している。年度により時期は異なるが、今年度は夏季休業前と読書週間前の 10 月に実施した。3 学期にも実施する予定。

② ボランティアによる読み聞かせ・昼休み開館支援

- 地域学校協働本部事業の取組の一つとして、月に 1 回、ボランティアによる読み聞かせを行っている。また、図書館開館時には図書館の見守りを行っている。

③ 校区の保幼小中連携事業「ノーメディアデイ」にあわせた「おすすめの本紹介」

- 学期に 1 回実施する PC やスマホ、ビデオやゲームについて考える日「ノーメディアデイ」にあわせて、公立図書館がおすすめの本を紹介している。



ボランティアによる読み聞かせ

(2) 地域への広報活動

① 学校での成果物の展示

- 国語や総合的な学習の時間に生徒たちが制作した POP や読書郵便、書写や文化祭で制作した作品などの作品展を図書館で実施している。
- 公立図書館の開館以来、図書館のイベント時以外は、常に生徒作品が展示されている。生徒が制作した POP は、常に書棚に 10 冊程度の図

書と並べられている。図書館司書が定期的に入れ替えを行っている。

- 今年度は、7・8月に修学旅行の新聞、10・11月には文化祭の展示物、12月は地域の文化祭に出店した美術作品を展示した。

②学校での活動状況の資料展示

- 東北支援活動などの生徒の活動も公開展示することにより、地域の方に中学校の活動を広報している。
- 本校では平成25年度から生徒（有志）が東北地方を訪れ、様々な支援活動を続けてきた。
- 公立図書館が本格稼働した平成27年度から資料展示を行っている。
- 平成29年度から訪問は行っていないが、現在も募金活動など継続した取組が行われており、現在も一部、展示がされている。

③しおりコンクール

- 文化図書委員会が、しおりのデザインを全校生徒から募集してコンクールを行っている。
- 優秀作品は、ラミネート加工してしおりに仕上げ、図書館で生徒および一般利用者に配布している。



しおりコンクール

取組・活動の工夫や特徴

- 東近江市では子ども読書活動推進計画により、学校図書館整備指標が掲げられ、学校司書の派遣が行われており、学校図書館の活性化に力を入れて取り組んでいる。
- 本校では学校経営管理計画に学校図書館と学習の連携を掲げ実践に励んでおり、学校図書館活用教育年間計画を策定している。

- また、生徒の読書に関する興味・関心を喚起し、豊かな心を育み、生きる力を育てるねらいから、特色ある学校の取組として地域の中心・周辺校をリードできる図書館教育を目指している。
- 成果を地域に広く発信するなど、公立図書館と歩調を合わせた取組を進めている。

取組・活動の成果や今後の展望

- 平成31年度の全国学力・学習状況調査の質問紙調査によると、本校生徒は平日1日あたり1時間以上読書する生徒の割合が、全国平均よりも約6ポイント高い。
- 図書館における生徒1人あたりの貸し出し冊数は、順調に増加の傾向にあり、個人貸出は現在の一体型施設が全面稼働を始めた4年前と比べ2倍以上に増加している。